

平成28年度
事業報告

社会福祉法人遍照会

■ 平成28年度 社会福祉法人遍照会 事業報告

■ 理事会

会議名	開催年月日	場 所	出席者	議 題
第1回理事会	平成28年5月23日	遍照院	理事6名、監事2名	役員改選の件
第2回理事会	平成28年5月24日	遍照院	理事6名、監事2名	理事長専任の件
第3回理事会	平成28年5月26日	遍照院	理事6名、監事1名	事業報告他
第4回理事会	平成28年8月26日	遍照院	理事6名、監事1名	人材紹介料他
第5回理事会	平成28年12月9日	遍照院	理事6名、監事2名	第1次補正他
第6回理事会	平成29年3月24日	遍照院	理事6名、監事2名	第2次補正他

■ 監事監査

会議名	開催年月日	場 所	出席者
監事監査	平成28年5月19日	遍照院	小谷浩二監事、森 一監事

■ 評議員選任・解任委員会

会議名	開催年月日	場 所	出席者
第1回委員会	平成29年2月10日	遍照保育園	小谷浩二氏、松井みさ氏、小川純子氏

■ 遍照保育園行事参加状況

行事名	開催年月日	場 所	出席者
運動会	平成28年10月8日	遍照院広場	大原正裕理事 岡圭子理事
発表会	平成29年1月14日	船穂公民館	大原正裕理事 岡圭子理事
卒園式	平成29年3月25日	遍照保育園	大原正裕理事 岡圭子理事

平成28年度 社会福祉法人遍照会 遍照保育園

1. 保育所の運営

(1) 定員 160名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各月初日現在）

年齢 月	0	1	2	3	4	5	計
4月	16	29	30	30	30	30	165
5月	18	30	30	30	30	30	168
6月	19	30	29	30	29	30	167
7月	20	29	29	30	29	30	167
8月	21	30	28	30	29	30	168
9月	22	30	29	30	29	30	170
10月	22	30	29	30	29	30	170
11月	23	30	28	30	28	30	169
12月	23	30	28	30	28	30	169
1月	24	29	29	30	28	30	170
2月	26	29	29	29	28	30	171
3月	26	28	29	29	28	30	170

(3) 延長保育利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人	43	33	46	51	42	47	52	40	39	43	31	52	519

(4) 一時保育事業実績数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	合計
半日	34	41	59	50	47	53	58	44	36	25	28	33	508	1107
全日	65	61	85	81	82	82	76	69	56	65	62	69	853	

(5) 休日保育事業実績数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人	4	6	3	5	4	4	1	1	0	0	3	2	33

2. 年間行事

(1)

月	行事	月	行事
4	入園式 交通安全教室 レンゲ摘み	11	旅育
5	こいのぼり会 花まつり会親子遠足 歯科検診 耳鼻科健診	12	もちつき会 クリスマス会

6	参観日 健康診断 はみがき集会	1	生活発表会
7	プール開き 七夕会 夏祭り 個人懇談 人形劇	2	豆まき会 参観日 思い出遠足
8	お泊り保育 プール納め	3	ひな祭り会 就学前交通安全教室 お別れ会 卒園式
9	お月見会 敬老の日 敬老の日の集い 秋の交通安全教室	毎月	避難訓練 消火訓練
10	運動会 秋の遠足 芋掘り	随時	不審者対応訓練 地震対応訓練

3. 職員

(1) 職員数

平成 28 年度	正規職員	臨時職員	その他職員
平成 28 年 4 月 1 日時点	31 名	11 名	0 名
平成 29 年 3 月 31 日時点	31 名	11 名	0 名

(2) 職員の異動等

平成 28 年度	正規職員	臨時職員	その他職員
採用	4 名	1 名	0 名
退職	3 名	0 名	0 名

(3) 職員会議他

会議名	回数	内容
職員会議	毎月 1 回	園運営が円滑に行われるように、園長、主任が職員の意見を聞いたり、運営方針を周知させたり、職員相互の事務連絡を図る。
給食会議	毎月 1 回	保育園全体での話し合いの場において、反省事項をもとに、改善すべき点を出し合って次回の計画に反映する。

(4) 研修関係

園外研修

主 催	内 容	参加人 数	その他
倉敷市保育協議会	初任者研修会	4名	
	平成28年度総会記念講演「今、 求められる 保育の質」	2名	
	子ども保護者の発達を支援する 保育者の役割	2名	
	調理研修会	1名	
倉敷市民間保育所協議会	平成28年度定期総会	1名	
	平成28年度保育(人権)研修会	1名	
日本保育協会	みんな一緒ではない乳児保育	10名	
私立保育連盟	新任保育士乳児研修2016	4名	
	2016 乳児保育ゼミ	2名	
	一人ひとりを大切にする乳児保 育とは	1名	
真言宗御室派福祉連盟	平成28年度第26回真言宗 御室派福祉連盟研修会	5名	
川崎医科大学リハビリテ ーション	発達障がい児に対する理解と対 応～作業療法士の視点～	4名	

園内研修

担当	内 容	参加人数	講師その他
栄養士	アレルギー児対応について	27名	
看護師	嘔吐処理について	27名	

4. 地域交流その他

実習生・ボランティア受入状況

実習生 (中国短期大学、就実大学、くらしき作陽大学、岡山情報ビジネス学院)

職場体験 (倉敷市立倉敷第一中学校、倉敷市立倉敷西中学校)

ボランティア (倉敷市立短期大学、旭川装厚生専門学院)

5. 苦情受付状況

平成29年2月14日(火) 保護者アンケート実施

平成29年3月 保護者アンケート結果を集計してHPにて公表予定

6. その他

平成28年10月 自己評価チェックリスト作成、集計

平成28年度 社会福祉法人遍照会 倉敷市連島保育園

1. 保育所の運営

(1) 定員 90名

(2) 年齢別・月別入所児童数 (各月初日現在)

年齢 月	0	1	2	3	4	5	計
4月	4	15	17	13	19	21	89
5月	5	15	16	13	19	20	88
6月	9	15	17	14	19	20	94
7月	11	15	17	16	19	20	98
8月	11	15	17	16	19	20	98
9月	11	15	17	16	19	20	98
10月	11	15	16	15	19	20	96
11月	12	15	16	16	19	20	98
12月	12	15	16	16	19	20	98
1月	13	15	16	16	19	20	99
2月	13	15	16	16	19	20	99
3月	13	15	16	16	19	20	99

(3) 延長保育利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人	5	1	9	5	4	1	2	4	10	9	11	8	69

2. 年間行事

(1)

月	行事	月	行事
4	新入児お迎え会 家庭訪問 (新入園児) お花見 れんげ摘み 子どもの集い会	11	秋の遠足・みかん狩り 芋ほり 発表会予行
5	親子遠足 (福山市立動物園) 交通安全教室 (4、5才児) 尿検査 磯遊び (大浜海岸)	12	発表会 消防車見学 クリスマス会
6	耳鼻科検診 園医健康診断 歯科検診 歯磨き集会 保育参観・講演会	1	新年にこにこ会 とんど焼 お茶会 園医健康診断
7	プール開き 子ども夏まつり 七夕会 人形劇鑑賞 1年生お招き会	2	豆まき会 保育参観 卒園旅行 就学前交通安全教室

8	プール参観・懇談 (5才児)	3	ひな祭り会 お別れ会 卒園式
9	運動会予行	毎月	避難訓練 移動図書 消火訓練 誕生会 身体計測
10	運動会 祖父母お招き会 交通安全教室 ハロウィーン	随時	不審者対応訓練 西浦小との交流会 地震対応訓練 異文化ふれあい体験

3. 職員

(1) 職員数

平成 28 年度	正規職員	臨時職員	その他職員
平成 28 年 4 月 1 日時点	12 名	12 名	1 名
平成 29 年 3 月 31 日時点	12 名	15 名	1 名

(2) 職員の異動等

平成 28 年度	正規職員	臨時職員	その他職員
採用	1 名	15 名	1 名
退職	0 名	5 名	1 名

(3) 職員会議他

会議名	回数	内容	その他
職員会議	毎月 1 回	行事の内容検討・周知 要配慮児の対応について 保護者支援の対応について	
給食会議	毎月 1 回	提供した給食の反省と改善 事項	
3歳未満児会議	毎月 1 回	遊びの環境をどう整えるか	配慮児の対応
3歳以上児会議	毎月 1 回	遊びの環境をどう整えるか	配慮児の対応

(4) 研修関係

園外研修

主催	内容	参加人数	その他
倉敷市保育協議会	0、1 部会	1 名	4 回
定期総会・講演会	大豆生田先生	1 名	
特別支援児保育研修会		1 名	3 回
主任保育士研修会	リスクマネジメント	1 名	
福祉施設給食管理者研修会	乳幼児期の食育について	1 名	

倉敷市民間保育所協議会 初任者研修会 定期総会・講演会 運動会実技研修会 乳児保育研修会	脇 貴士先生 サライ美奈先生	1名 2名 2名 1名	
法人主催研修会 日本保育協会	絵画研修 保育所所長就任予定者研修	3名 1名	
水島地区園長主任会 水島地区母子保健連絡会		2名 2名	11回出席 2回
岡山県保育協議会 総会・講演		1名	

園内研修

担当	内 容	参加人数	講師その他
0～5才各クラス	各クラスの保育を公開し、その後反省会	全職員	
看護師	嘔吐処理について	20名	
看護師	子どもの緊急対応について (エピペンの使い方等)	22名	
看護師	傷の処置について		
	要配慮児の支援方法	のべ32名	佐分利 先生

4. 地域交流その他

* 実習生・ボランティア受入状況

- 職場体験 (連島中学校 2名・連島南中学校 2名)
 ボランティア (県立玉島高校 2名・連島西浦小教諭 社会貢献体験 1名)
 実習生受け入れ (中国短期大学 2名 倉敷市立短期大学 1名 清心女子大学 1名)
 保育実習受け入れ (連島中学校 3年生 93名 家庭科 3年生保育実習受け入れ 3日間)

5. 苦情受付状況

- 平成 28 年 6 月 参観日に対する保護者アンケート実施 結果を園内掲示
 平成 28 年 10 月 運動会に対する保護者アンケート実施 結果を園内掲示
 平成 28 年 12 月 発表会に対する保護者アンケート実施 結果を園内掲示
 平成 28 年 9 月 保育所利用満足度を保護者にアンケート実施
 結果を職員に周知してもらう。

6. その他

保幼小連絡会 於 連島保育園 AM 保育参観 PM 協議会 12名出席

(連島西浦幼稚園2名 西浦小2名 神亀小2名 連島南小1名 連島保育園より5名)

(連島保育園の保育を見て頂き保育に対する協議とアドバイスを頂く)

平成28年度 社会福祉法人遍照会 東大沢保育園

1. 保育所の運営

(1) 定員 90名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各月初日現在）

年齢 月	0	1	2	3	4	5	計
4月	6	16	18	23	3	3	69
5月	6	16	18	23	3	3	69
6月	6	16	18	23	3	3	69
7月	6	16	18	23	3	3	69
8月	6	16	18	22	3	3	68
9月	6	16	18	22	4	3	69
10月	6	16	18	22	5	3	69
11月	6	16	18	22	5	3	69
12月	6	16	18	22	5	3	69
1月	6	16	18	22	5	3	69
2月	6	16	18	22	5	3	69
3月	6	16	18	22	5	3	69

(3) 延長保育利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人	13	14	20	29	26	21	17	23	21	17	18	25	57

2. 年間行事

(1)

月	行事	月	行事
4	入園式	11	園児個人面談
5	野菜の苗植え 幼児徒歩遠足 内科検診	12	おもちつき クリスマス会
6	保育参観・懇談会 歯科検診	1	生活発表会
7	七夕の集い 夏の園外体験（4・5歳児）	2	節分の集い
8	すいか割り	3	ひな祭り会

9	ケアセンター越谷そよ風訪問 運動会	毎月	避難訓練 消火訓練
10	ハロウィン ケアセンターそよ風訪問	随時	不審者対応訓練 地震対応訓練

3. 職員

(1) 職員数

平成 28 年度	正規職員	臨時職員	その他職員
平成 28 年 4 月 1 日時点	11名	8名	1名
平成 29 年 3 月 31 日時点	10名	11名	2名

(2) 職員の異動等

平成 28 年度	正規職員	臨時職員	その他職員
採用	12名	11名	2名
退職	3名	1名	0名

(3) 職員会議他

会議名	回数	内容	その他
職員会議	年2回	行事計画	
給食会議	毎月1回	給食の提供について	
リーダー会議	毎月1回	各クラスの現状報告	

(4) 研修関係

園外研修

主催	内容	参加人数	その他
遍照保育園	看護師との情報交換	1名	
YELL 株式会社	安田式体育遊び研修会	1名	
くらき永田保育園	遊びながら備える (保育園で CAMP)	1名	
子どものとも社	子どもと絵本	5名	
銀杏保育園	絵画研修	1名	
埼玉県東部地区保育士 研修会	子どもの育ちと保育 ～自己肯定感を育むために～	1名	
遍照保育園	絵画研修	1名	
越谷市子ども家庭部	子どもののびのびとした造形遊び につながる保育者の関わり	1名	
越谷市子ども家庭部	保育所(園)における 事故防止について	1名	

YELL 株式会社	安田式大展示会及び講演会	1名	
学研教育みらい 幼児教育事業部	「対話」や「共同」が生まれる 保育	1名	
くらき永田保育園	絵画研修	2名	

園内研修

担当	内 容	参加人数	講師その他
樋口	おもちゃと保育	20名	細川真吾
樋口	日課と育児担当制について	19名	横山篤次
樋口	保育室環境と日課について	22名	横山篤次
樋口	保育室環境と日課について	20名	横山篤次
樋口	来年度の環境と異年齢混合保育	22名	横山篤次
樋口	来年度の環境設定と異年齢児保育	22名	横山篤次

4. 地域交流その他

実習生・ボランティア受入状況

実習生（埼玉東萌短期大学 4名 越谷保育専門学校 1名）

ボランティア（独協埼玉中学校 3名 東京学芸大学附属国際中等教育学校 1名

草加高校 1名 誠和福祉高等学校 1名 聖学院大学 1名

文教大学 1名 東京家政大学短期大学部保育科 1名

埼玉東萌短期大学 2名）

老人ホーム慰問 ケアセンターそよ風（さくら・たんぽぽ組 8名）

5. 苦情受付状況

平成 28 年 4 月 15 日 保護者より園の保育体制についての要望

平成 28 年 4 月 21 日 15 日にいただいた要望に対して園として回答

平成 28 年 6 月 14 日 保育参観習慣保護者アンケート実施

平成 29 年 2 月 1 日 保育園利用者アンケート実施

平成 29 年 3 月 7 日 保育園利用者アンケート結果公表(キッズリーにて配信)

平成28年度 社会福祉法人遍照会 遍照小規模保育園

1. 保育所の運営

(1) 定員 19名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各月初日現在）

年齢 月	0	1	2	計
4月	1	7	4	12
5月	1	7	4	12
6月	2	7	4	13
7月	5	7	4	16
8月	5	7	4	16
9月	7	7	4	18
10月	7	7	4	18
11月	7	7	4	18
12月	8	7	4	19
1月	8	7	4	19
2月	8	7	4	19
3月	8	6	4	18

2. 年間行事

(1)

月	行事	月	行事
4	入園式	11	不審者対応訓練、地震対応訓練 個人懇談 健康診断
5	こいのぼり会 花まつり会 歯科検診	12	もちつき会 クリスマス会
6	個人懇談 健康診断	1	保育参観
7	水遊び開始 七夕会 夏祭り	2	ベビーマッサージ
8	水遊び納め	3	お別れ会
		毎月	避難訓練

9			消火訓練
10	運動会	随時	ふれあいデー

3. 職員

(1) 職員数

平成28年度	正規職員	臨時職員	その他職員
平成28年4月1日時点	4名	4名	名
平成29年3月31日時点	4名	4名	名

(2) 職員の異動等

平成28年度	正規職員	臨時職員	その他職員
採用	1名	名	名
退職	名	1名	名

(3) 職員会議他

会議名	回数	内容	その他
職員会議	毎月1回	各クラス状況報告	
給食会議	毎月1回	各クラス給食状況報告	
リーダー会議	随時	本園との合同会議	
3歳未満児会議	随時	保育内容の確認、研修報告等	

(4) 研修関係

園外研修

主催	内容	参加人数	その他
倉敷市保育協議会	初任者研修会	1名	
岡山県民間保育所協議会	新任職員研修会	1名	
日本保育協会	青年部研修会 初任保育所長等研修	3名 1名	
私立保育連盟	2016 乳児保育ゼミ	2名	

園内研修

担当	内容	参加人数	講師その他
看護師	嘔吐処理について	3名	

4. 地域交流その他

岡山高等学院の学生5名が園庭のままごとハウス作成

実習生・ボランティア受入状況

実習生（岡山県立瀬戸高等支援学校2年 1名）

ボランティア（中国短期大学 2名）

5. 苦情受付状況

平成29年2月13日（月）保護者アンケート実施

平成29年4月13日（木）保護者アンケート結果配布

対応

ご意見やご要望を受け止め、平成29年度より開所時間を7時00分～18時00分、延長保育を18時00分～19時00分とする。

地域子育て支援拠点事業 実績報告書（H28年度）

拠点名称 遍照地域子育て支援センター

1 拠点事業の実施にあたり

地域子育て支援事業を実施するにあたり、拠点（団体）として、一番大切に
したことは何ですか？事業の実施方針，理念をご記入ください。

社会福祉法人 遍照会法人理念は「人権の尊重」

“利用者の自己決定と選択を尊重”する事を大切にしています。

・社会資源・情報・手立て・方法など幅広く収集し提供を行うが、最終的には利
用者が選択し、考え、決める事であるという考えは大切にしています。

社会福祉法人としての強み・特色…

・保育園に併設されているので、保育園や園児の様子をオープンにしています。
（園庭を毎日開放・遊具や砂場の使用・給食試食会・行事に参加・駐車場使用な
ど保育園の環境と一緒に共有しています。また、相談業務においては、保育園勤
務の管理栄養士・看護師・保育士など人的な環境の協力も得る事ができていま
す。）

・保育園内の一時預かり事業とも連携を取り子育て親子の支援を進めています。

・保育園の職員の理解と協力により、安心・安全な環境の提供を行う事ができて
います。

2 地域との連携について

地域子育て支援拠点事業を実施するにあたり、どのような関係機関*と連携を図りましたか？（アウトリーチ，地域支援を含む。）

その連携先のうち，特に，お互いの顔が見える関係にあると言えるところを例示として挙げてください。

※ 関係機関 … 地域の委員（愛育委員，主任児童委員など）や団体（子育てサロン，親子クラブなど）を含む。

連携先	連携先
西阿知学区ボランティアグループすみれ会	西阿知学区 栄養委員
西阿知学区 愛育委員	西阿知学区 子育てサロン 愛・愛
西阿知学区 親子クラブ (ぺんぎんクラブ・さくらんぼクラブ)	中島学区 親子クラブ (ひよこ会・おひさまクラブ)
遍照院あまねくてらすコミュニティ	西阿知学区子供会 やまびこ会
西阿知学区 民生委員	ササベ印刷株式会社
西阿知学区 児童委員	西阿知地区社会福祉協議会
中島学区子育てサロン ふわりん	中島学区 愛育委員・元会長
中洲学区 老人会	中洲学区子育てサロン うーちゃん
中島学区 三菱自工社宅内ふれあい広場	西阿知・中島・中洲学区 保健推進室
西阿知町新田 倉敷備中神楽伝承道場	西阿知 フォトショップナカイ
中洲学区 主任児童委員	中島学区 民生委員（元主任児童委員）
西阿知学区 老人会	西阿知学区 防犯パトロール
中洲学区 愛育委員会会長	

3 利用状況について

(1) 拠点の利用者数など

当該年度に利用登録している家庭数 597 組（世帯）

	実利用家庭数（組） 例：親子が月4回利用⇒1組	延べ利用者数（人） 例：父母と子2人⇒4人	利用なしの日（日）	
			午前	午後
4月	156（組）	828（人）	（日）	（日）
5月	175（組）	917（人）	（日）	（日）
6月	208（組）	1084（人）	（日）	（日）
7月	204（組）	1005（人）	（日）	（日）
8月	177（組）	989（人）	（日）	（日）
9月	202（組）	959（人）	（日）	（日）
10月	219（組）	1092（人）	（日）	（日）
11月	186（組）	941（人）	（日）	（日）
12月	126（組）	622（人）	（日）	1（日）
1月	138（組）	765（人）	（日）	（日）
2月	174（組）	904（人）	1（日）	（日）
3月	168（組）	872（人）	（日）	（日）
合計	2133（組）	10978（人）	（日）	（日）

(2) アウトリーチの参加者数

【 地域への出前など、拠点の外で活動をした場合の延べ参加者数（人） 】

4月	72（人）	8月	0（人）	12月	32（人）
5月	98（人）	9月	90（人）	1月	143（人）
6月	124（人）	10月	69（人）	2月	72（人）
7月	47（人）	11月	93（人）	3月	64（人）
合計			904（人）		

4 基本事業について

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

ア 子育て親子が気軽にかつ自由に利用できるようにするため、気を付けた点、工夫したことをご記入ください。

◎拠点を開設しているだけではいけないので、利用してもらえそうな仕掛け作りを行う。

- ・講座の内容を利用者のニーズに合わせて開くようにする。（例えば、ベビマは拠点デビューにおススメだったり、保育園入所を考えられている方なら保育園講座、妊婦の方はマタニティヨガなど）
- ・園庭で遊べない…や、用具や遊具が使えないなどの禁止事項は極力ないようにする。園児が園庭で遊んでいても安全確保さえしてもらえれば、園庭も開放している。
- ・予約制にしない方が参加しやすい講座を見極め、予約不要にしている講座もある。
- ・予約制の講座の日でも園庭のみならOK・講座が終了すればプレイルームOKなど、緩やかな対応を心がける。
- ・講座が続くと予約が必要な日が続くので、間隔を空けて設定するようにする。
- ・駐車場がある事はメリットなのでパンフレットにも駐車場ありと記入する。
- ・ベビーカー押して園内に入る事もOKにしている。

イ 来訪した子育て家庭間の交流を深めるため、気を付けた点、工夫したことをご記入ください。

- ・名札に年齢毎のカラーシールを貼り、“同じ色は同じ学年になるので、「何月生まれですか？」など、お母さん同士の会話のきっかけに使って下さい”と最初の説明時に言っています。
- ・情報交換用の掲示板を設置し利用者との会話や情報提供
- ・利用者同士で（軽い）相談事は解決できるように会話を振ったり投げかけたりする。
- ・交流を深めるのが苦手・他の方から話しかけるのが苦手など、利用者の方のタイプによっては、一概に家庭間の交流を深めたい家庭ばかりではないのでその点は気を付ける。

(2) 子育て等に関する相談，援助の実施 … 【 件数は様式第 2 号 】

子育てに不安や悩みなどをもっている子育て親子に対する相談，援助を実施するにあたり，気を付けた点，工夫したことをご記入ください。

- ・まずは聞く姿勢をもつ。その日に解決策が見つからないものが多いので時間をかける。相談された内容は必ず日誌に文章化する。一時保育の保育士とも話合う時間を設け、多角的に悩みや不安のある親子を見てみる。（と、何気ない会話や行動から少しずつその家族やバックグラウンドが見えてくる。文章化して見返す又は複数の人で読む事で大きな問題なのか軽い問題なのかを見極めていく。）
- ・ちょっとした相談であれば…その場に居るママ同士で解決できるように何気なく話を振ってみる。親同士の力を利用する。
- ・日誌に記入しているので、久しぶりの利用の親子の場合は日誌を参考にして、その後の様子を聞いてフォローを入れる。
- ・気になる親子は、保健推進室や他の拠点とも連携を取る。（気になるな～のままにしないようにする）

(3) 地域の子育て関連情報の提供

ア 子育て親子が必要とする身近な地域の子育てに関する情報として、どのような情報を親子に提供しましたか？実施した内容の主なものを御記入ください。

内容	部数など	回数
西阿知・中島・中洲学区親子クラブの 活動場所の地図とオープンデー等をまとめたもの	200部	随時
西阿知学区の社会資源マップ作成（公園やお店・病院情報）	予定表の裏	12回
西阿知・中島・中洲学区の子育てサロンの場所・活動日などまとめたもの	200部	3回
西阿知・中島・中洲学区のお店・病院・美容院などの情報を皆で書いて貼るボードを設置。利用者がいつでも見えるようにした。 （病院などは、良い点良くない点など両方の意見を載せるようにした。フリーペーパーに載っている店やお出かけスポットなどの切り抜きの掲示）		随時
ブログに地域の人や利用者の方から得た情報を載せる 例えば…中洲の体操教室のメンバーが少ないなど利用者からの困っている事を載せる（実際にブログを見て教室に体験で行った方もいた）		随時
私立の幼稚園情報・保育園情報をまとめたものを配布	100部	秋ごろ
フェイスブック あのねっとに拠点の予定表と共に、子育てサロンと親子クラブの日を載せている。		毎月
ハピーズ（中島店）・薬局に予定表を掲示してもらう		ほぼ毎月
船穂図書館・北児童センター・イオンのイベントの切り抜き掲示		毎月
親子で出かける公園や水族館などの案内をファイリング		常時
保育園の給食のレシピを配布		随時

イ 上記のような情報を収集・提供するにあたり、気を付けた点、工夫したことをご記入ください。

・利用者との会話の中でニーズのある情報・必要とされている情報を敏感に感じ取る。それに合わせて、収集し独自にまとめる。自分が貰った時何が載っていると便利なのか…の視点で提供する。

・宗教関連の案内もあるので注意する。

・地図やイメージ図を載せる

(文章だけでなく分かりやすさやイメージしやすさを重視)

・リアルタイムで発信する

・入所の申請時期に合わせて保育園・幼稚園情報の情報紙を設置する。年中おくのではなくニーズの高まる時期に合わせて用意する。

・情報は職員も収集するが、利用者のお母さん達が用意してくれたり持ってきてくれたりしたものも最大限に活用する。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施(月1回以上)

ア 拠点で実施している講習等 月平均実施回数 5 回/月
のべ参加者数 1088 人

※市全体(拠点)で取り組んでいる「子育てボランティア養成講座」は含めないでください。

イ 実施した講習等をすべて挙げてください。

講座名・内容	日付	回数	参加人数
ベビーマッサージ	4/23 ほか	10	195
ベビマid小規模保育園	5/24 ほか	2	27
絵本の読み聞かせ	5/11 ほか	12	230
ヨガ・マタニティヨガ	4/13 ほか	6	82
指圧ストレッチ	5/27 ほか	6	62
ハンドマッサージ育児相談	6/7	1	8
歯科衛生士 出前講座	9/9	1	56
ママ講師によるわらべ歌であそぼ	5/31 ほか	2	34
保護者会とコラボ企画スクラップブック (日曜企画)	10/30 ほか	2	11
サプライズおやつ試食会	4/18 ほか	5	40
離乳食試食会 (id小規模保育園)	5/24 ほか	2	27
アルバムカフェ	5/19 ほか	4	59
保育園講座	10/11 ほか	2	74
キッズアトリエ (お菓子の家作り・工作)	6/16 ほか	3	42
西阿知学区保健師出前講座	7/6	1	42
ぱれっと公演	8/30	1	58
リース作り	11/15 ほか	2	24
しめなわ作り	12/9	1	17

サプライズ・ランチ ＜(4)の講座の回数と参加のべ人数には含めて いません＞	4/6 ほか	110	843
--	--------	-----	-----

5 地域支援について … 該当する拠点のみ

地域全体で、子どもの育ち・親の育ちを支援するため、どのような地域支援を継続的*に実施しましたか？

地域の実情に応じ、地域に開かれた運営を行い、関係機関や子育て支援活動を実施する団体等と連携の構築を図るために行った取り組みを別紙様式に具体的に記入するとともに、下記に取り組みを進める上で気を付けた点、工夫したことをご記入ください。

また、成果品（冊子、リーフレット、イベントの報告書など）、各回の会議録についても添付をお願いします。

※ 継続的 … 一月に複数回実施し、かつ一年間を通じて継続的に行うことをいう。

◎アンケートをもとに…

・最初に利用者アンケートをとり、子育てをする中で「困っている事」「よく分からない事」地域の中でこんな「催しもの」「集まり」があったらいいな…という意見を集める。親子クラブへ出向いた際や拠点開放中にお母さん達と話した内容なども参考にして、支援者側の勝手な思い（こんなイベント楽しそう…必要だろう…など）で進めていかないように気を付けた。

◎第2回 プチ子育てC a f e…

・西阿知・中島・中洲学区の子育てサロン代表・三菱社宅内広場代表・主任児童委員と情報交換を行なう。西阿知学区の主任児童委員に活動内容を発表してもらったり、質問や疑問を皆で出し合っていた。

・開催しただけで終わらずに会議の内容を文章にまとめて参加者に配布。支援者向け講座の紹介も行い支援者のレベルアップ又は、次につなげるようにしていった。

◎お互いのメリットに…

・西阿知学区子育て応援会議では、愛育委員が作成するはずだった、「まち歩き・さと歩きマップ」を応援会議内で作成することにした。それぞれのキーパーソンが困っている事の手伝いができる様にしていた。

・来年度も子育てサロン版プチ子育てC a f eで三菱自工内のふれあい広場に他のサロンの方も手伝いに行ってくれる予定になった。他のサロンの困っている事をサロン同士で解決していくようにしていた。

◎西阿知学区・地域で子育て応援会議主催のプレウォーキング大会開催

・完成したマップを使って地域の方の力を借りて開催する。それぞれの団体の得意な事を活かした企画を行う。三世代といえ、「小学校の子どもから参加」のイメージを「地域の妊婦さん～乳幼児の子どもの参加」に広げ企画した。

拠点がリーダーになって進めるのではなく、（リーダーは決めず、組織化もせず…）出来ないことは手伝ってもらい、分からない事は教えてもらう姿勢を大切にしました。地域の方からの「子どもは地域の宝」という思いを大切にしていこう。

◎西阿知学区・地域で子育て応援会議を広く知ってもらおう

・地域の合同総会で地域の方に聞いてもらったり、地域の広報に載せてもらったりして知ってもらおうよう努力する。

※会議録や報告書は支援課に提出済み。

6 拠点のPRについて

ア 当該拠点の認知度を向上させるため、どのようなことを行いましたか？いくつか例示を挙げてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・保育園のホームページ内のブログ平日毎日更新する（月平均2500人の閲覧） ・あのねっと フェイスブックの活動報告にもリンクを貼りブログの閲覧数を増やす ・子育てサロン・親子クラブ・地域の総会に向いて予定表・案内を配布 ・西阿知学区・中島学区の愛育委員の定例会で全戸回覧の依頼 ・出張や見学に行く際には必ず拠点の案内と予定表を持ち歩く 		
遍照地域子育て支援センターの予定表	400部	毎月
遍照院と一緒にママ+企画のチラシ	500部	1回
愛育委員全戸回覧（西阿知・中島・中洲）	900部	毎月
子育てサロン（西阿知・中島・中洲）での予定表配布	70部	ほぼ毎月
地域の会議に参加する際には予定表と案内を配布	50部	随時

イ 上記のPRを行うにあたり、気を付けた点、工夫したことをご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・「行ってみたいな」と思える発信の仕方を心掛けた。 ・ホームページのブログ認知が上がったように感じた為、その中に地域のイベントやおススメの公園情報などをアップするようにした。 ・遠方の子育て親子ではなく、遍照地域子育て支援センター周辺の利用者を意識して行っていった。 ・ブログ内で講師のホームページや公園情報などのリンクを貼る事で、手軽に情報が利用者に届くようにしたことと、講師の先生側の子育て親子にも遍照の支援センターを知ってもらうことができるようにした。 ・西阿知・中島学区・中洲学区の愛育委員会長にお願いして、家から全戸回覧を行う。地域の親子が予定や拠点の事を知る機会になれば…と思っています。 ・H28年2月～カラー印刷機を導入して見易さを意識した。イメージが湧きやすい様写真も載せた。
--

7 支援の質の向上について

ア 研修への参加

支援者としての資質，専門性の向上を図るため，どのような外部研修に参加しましたか？参加対象エリアが広い順（全国⇒中国地区⇒県⇒備中県民局⇒市）で，主な研修について挙げてください。

開催月	研修名（講師名）	参加人数
10・11月	子育て支援コース 利用者支援事業基本型研修	1（人）
12月	同上 見学実習 わくわくるーむ	1（人）
12月	地域子育て支援における利用者支援事業の展開 （橋本 真紀先生）	1（人）
2月	パパもママも笑顔になれる地域コミュニティ作り （佐藤 和順先生） 岡山市南方地域子育て支援センター見学研修	1（人）
7月	発達という魔法の言葉 （なごみ認定こども園 志賀口 大輔先生）	1（人）
7月	倉敷市要保護児童対策地域協議会研修 「要保護児童の保護者とのかかわりで」	1（人）
5月	いま、求められる保育の質（大豆生田 啓友先生）	1（人）
8月	子どもの人権を育む（村中 由紀子先生）	1（人）
11月	埼玉県 東大沢保育園見学研修	1（人）
5・7月	地域で子育て応援会議「子どもの発達を知る事で拓く可能性」（周防 美智子先生）	1（人）
7月	子育て支援拠点研修「育ちは母親の胎内のように」 （龍尾 和幸先生）	1（人）
9月	地域で子育て応援講座「子どもの安全について一緒に考えよう」	1（人）
10月	倉敷地区要保護児童対策地域協議会実務者会議 「里親」知っていますか	1（人）
11月	地域で子育て応援講座 「離乳食・幼児食について“食と子どもの心の発達”	1（人）

イ 上記アの参加により、拠点の活動内容の見直しなど、改善につながった事例をご記入ください。

・「子育て支援コース 利用者支援事業基本型研修」では利用者支援の基本が学べ、イメージがつかめた。見学実習の「わくわくるーむ」では、具体的な利用者支援事業の取り組みや日報なども見せてもらい参考になった。

・橋本先生の「地域子育て支援における利用者支援事業の展開」では、拠点業務と利用者支援事業の違いや、地域支援での地域の方との進めかたのポイントを教えてください、実際に実行した。（上手くいきました）

・子どもの発達の研修では、発達の流れを正しく理解する事、そしてそれを他者に話せる力が必要という事を聞き拠点利用の親子にも分かりやすく話すようにしていった。

・岡山市南方地域子育て支援センター見学研修では、登録用紙を見せてもらい記入の内容を参考にした。

ウ 上記アのほか、拠点として「支援の質」を向上させるため、どのようなことを行いましたか？主なものを挙げてください。

・保育園内の研修（嘔吐処理や運動など）にも積極的に参加する
・職員本人の子育てスキルの向上（職員自身の子どもの怪我・病気・失敗など経験する中で知識を増やしていく）…子どもに関する様々な情報を取り入れるようにし、情報が選択肢の一つとして提示できるようにしていく。

・年2回の自己評価を行う

名札の選択時男の子・女の子で色を決めたりしないようにすることや、皆で何か（歌や絵本など）を突然しないといけないような状況を作らないようにするなど配慮するよう職員間で話した。

・利用者の子どもが0～2歳児と小さくなってきているので、乳児の発達に合った玩具選びと環境構成を考えていく。

・利用者アンケートを行い利用者のニーズを知ろうとする。

困っている事などは地域支援などで解決していけるようにする。

8 運営全般について

ア 個人情報適切に取り扱う上で、行っていることをご記入ください。

- ・職員同士守秘義務の確認
- ・利用者の連絡先等は鍵付きの棚へ保管
- ・必要のなくなった書類はシュレッダーで処理する
- ・初回の説明時に個々にネット掲載OKかどうかの確認記入をお願いしている。掲載NGの方は、顔や名札の加工などして配慮している。

イ 安全対策、衛生管理上、行っていることをご記入ください。

[安全対策]

- ・初めて利用の説明時に安全への配慮の説明を行う（文字は赤で印刷）
- ・オムツ交換台にはオムツ交換時の安全面への配慮事項を掲示
- ・棚などぶつけると皮膚を切りやすい部分には安全ガードを付ける
- ・園庭も開放しているが園児への安全確保も依頼している
- ・プレイルーム内でのケガが起こりそうな時は、子どもがその空間内で遊びを見つけられていないことが原因なので、一人ひとりが遊びを見つける環境設定が基本。
（棚の高さやコーナ・マット・植物の配置・利用者のニーズに合わせた玩具の入れ替え・動線の配慮など）
- ・園庭遊具の安全点検は保育園側の職員と共に週1回行い点検表記入。
- ・毎月避難訓練を行い、地震の避難訓練では、拠点利用者用の防災頭巾も用意している。毎月消火訓練も行っている。
- ・駐車場止め方や徐行は最初の利用時に丁寧に説明している。

[衛生管理]

- ・利用前には手洗い（アルボース）・消毒（アルコール）の徹底（園庭で遊んで入室する際も）
 - ・毎日、玩具や棚は、次亜塩素（100倍～150倍に希釈）で拭き、その後水拭き
 - ・業務用の空気清浄器・（カビの出ない）加湿器を設置
 - ・布製品（布団・手作り玩具など）洗濯後日光消毒
 - ・園庭の砂場は毎日猫予防のネット使用・週1回消毒を行っている。
- ※安全・衛生に関しては保育園側と一緒に考え同じ基準で行っている。

ウ これまで（1～8）に記載したことのほか、拠点として自主的に取り組んでいることなど、報告すべき内容がありましたら、ご記入ください。

- ・0歳児向けに遍照小規模保育園のオープンデーを設け、保育室で玩具の紹介・離乳食の試食・相談などを1対1でゆったり行っている。
- ・開放日に利用者が居ない事がほとんどないので、（日頃よく利用している方を意識して）予告なしでかき氷パーティーや、サプライズランチ会を開いたりした。
- ・夏は、園児と一緒に泥あそびやアクアプレイでの水遊び等、家庭や公園ではなかなか経験できない事を企画していった。
- ・プレイルーム内の玩具は、保育園側とほぼ同じ内容のものを用意
0歳～2歳向けの木の玩具や手作りの玩具を多く取り入れている。（プラスチック製・光・音の鳴るような刺激の多い玩具・キャラクターものは置かない）指先を使ったあそび・ごっこあそびなど、年齢に沿った遊びが主体的にできる環境設定を行っている。月齢に合った玩具の紹介や、その玩具であそぶ事で成長していく事など、会話の中で保護者に伝えられるようにしていく。
- ・育児講座では、利用者のお母さん達が得意な事を活かして講師になれるような講座を開いていった。（例えばキッズアトリエ・わらべ歌など）
- ・講座を土曜や午後開催にして午前中以外でも利用しやすい様にしていった。
- ・妊婦さんの利用を増やしたいので、第1子妊婦さんはベビマの料金を無料にして参加しやすくした。

平成28年度 社会福祉法人遍照会 てらす西阿知

1. 児童発達支援・放課後等デイサービスの運営

(1) 定員 10名

2. 年間行事

(1)

月	行事	月	行事
4		11	・紅葉狩り(散歩)
5	・開所式 ・消防署見学	12	・クリスマス
6	・水遊び	1	・凧揚げ
7	・七夕	2	・節分
8	・水遊び	3	・ひな祭り
9	・消防署見学		
10	・ハロウィン		

3. 職員

(1) 職員数

平成28年度	正規職員	臨時職員	その他職員
平成28年4月1日時点	4名	0名	0名
平成29年3月31日時点	4名	0名	0名

(2) 職員の異動等

平成28年度	正規職員	臨時職員	その他職員
採用	4名	0名	0名
退職	0名	0名	0名

(3) 職員会議他

会議名	回数	内容	その他
職員会議	毎月1回	当月の反省	
個別支援検討会議	随時	個別支援計画と評価等の検討	

(4) 研修関係

園外研修

主催	内容	参加人数	その他
倉敷発達障がい研究会	意思疎通が図れない患児との関わりを通して	1名	
たんぽぽ団 地域交流事業	当事者の声から私たちが学ぶこと	1名	
岡山県民間保育所協議会	小学校入学までに知っておきたいこと	1名	
倉敷市障がい福祉課	倉敷市心身障がい児関係機関連絡会	1名	
		名	
		名	

園内研修

担当	内容	参加人数	講師その他
保育士	研修報告	4名	
児童発達支援管理責任者	救命救急	4名	
		名	
		名	
		名	
		名	

4. 地域交流その他

実習生・ボランティア受入なし

5. 苦情受付状況

保護者アンケート未実施

6. 児童発達支援事業

未就学児を対象に、平日9時から12時まで開所している。

定員10名。(多機能型の為、放課後等デイサービスと合わせて定員数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実績数		4名	17名	40名	65名	81名	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
実績数	113名	155名	163名	170名	168名	192名	1168名

平成28年度の利用実績は、開所日数221日、年間延べ利用人数1168人、一日あたりの利用人数平均5.3人（欠席加算対象数含まず。）であった。

7. 放課後等デイサービス事業

小学校就学から18歳未満の児童を対象に、平日13時30分から16時30分まで開所している。

定員10名。（多機能型の為、児童発達支援と合わせて定員数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実績数		1名	9名	16名	15名	13名	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
実績数	12名	10名	9名	10名	12名	12名	119名

平成28年度の利用実績は、開所日数221日、年間延べ利用人数119人、一日あたりの利用人数平均0.5人（欠席加算対象数含まず。）であった。

8. その他

必要に応じて、相談支援専門員、保護者、保健師等、関係者が集まったのサービス担当者会議を行った。